

胎盤の臓器特異性に就て

第三編

妊婦血清中の胎盤抗体検出

岡山大学医学部衛生学教室 (主任 緒方教授)

平松哲夫

[昭和28年11月17日受稿]

目次

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 第1章 緒論並に文献 | 第4章 妊婦血清中の胎盤 O. P. S. に対する抗体検出 |
| 第2章 胎盤多糖類様物質 (O. P. S.) の抽出法及び性状 | 第5章 結 論 |
| 第3章 人胎盤 O. P. S. の抗原性 | 文 献 |

第1章 緒論並に文献

胎盤による同種抗体産生に関しては未だ定説なきも近時其の研究は子癩の成因に關聯して漸く盛んとなつて来た。

即ち1903年 Opitz¹⁾ は妊婦血清中に胎盤沈降素を証明し得なかつたといひ、Frank²⁾、佐伯³⁾、秋保⁴⁾等は胎盤の同種抗体の産生を否定して居る。

然るに石川⁵⁾ は家兎胎盤のアルコールエキスにより同種抗体の産生を認め、高岡⁶⁾ は水酸化アルミニウムに吸着せしめて忍耐強く免疫すれば胎盤の同種抗体の産生は可能であると言つて居る。

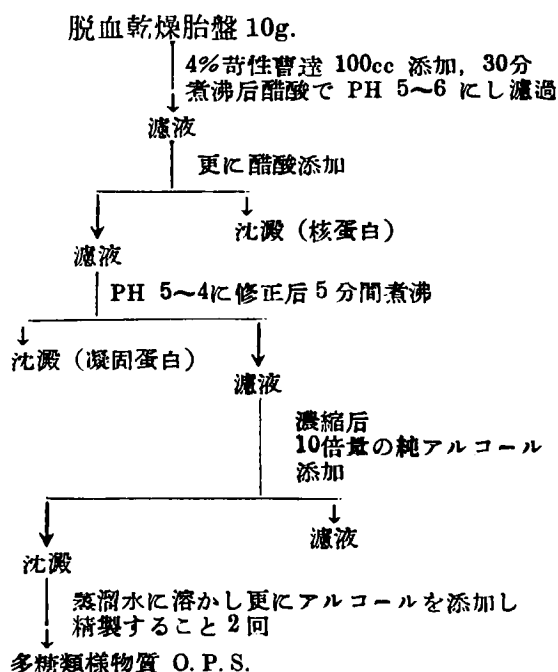
近時に至つて真柄⁷⁾ は葡萄状球菌毒素を家兎胎盤エキスに混じて免疫し同種抗体を証明し得たといひ、又、加米⁸⁾ は人胎盤より抽出した多糖類様物質所謂 K. P. S. と反応する抗体を妊娠中毒症患者血清中に認めて居る。

余も又、緒方教授御指導の下に人胎盤より多糖類様物質 O. P. S. を抽出し、妊婦血清について実験を行ひ次の様な成績を得たので茲に報告する。

第2章 胎盤多糖類様物質 (O. P. S.) の抽出法及び性状

多糖類製法には種々あるが余は脱血乾燥せる胎盤粉末より第1表の如き方法で多糖類様物質を抽出し、かくして得たものを O. P. S. と名づけた。

第1表 人胎盤 O. P. S. の抽出法



次に此の多糖類様物質 O. P. S. の化学的性

次に綿羊血球にて妊婦血清中の血球凝集素を吸収せしめ再び胎盤抗原 O. P. S. の附着し

た血球と反応せしめたところ第8表に示すやうな成績を得た。

第8表 血球凝集素吸収後の妊婦血清と胎盤 O. P. S. の反応

例数	妊月 妊数	血清稀釈度							
		O. P. S. 附着の有無	1:4	1:8	1:16	1:32	1:64	1:128	1:256
1	IV	+	卅	卅	卅	卅	+	+	-
		-	卅	十	-	-	-	-	-
2	IX	+	卅	卅	卅	十	十	十	-
		-	卅	十	-	-	-	-	-
3	X	+	卅	卅	卅	卅	卅	十	-
		-	十	十	-	-	-	-	-

即ち胎盤, O. P. S. の附着しない血球とはほとんど反応しないが O. P. S. の附着している血球とはよく反応する。

故に妊婦血清中には胎盤 O. P. S. に対する抗体の存在する事が証明された。

出した。

2) 人胎盤 O. P. S. には抗原性がある。

3) 妊婦血清中に人胎盤 O. P. S. に対する抗体を検出し得た。

摺筆するに当り、終始御懇篤なる御指導と御校閲を賜りし恩師緒方教授に謹んで感謝の意を表す。

第5章 結 論

- 1) 人胎盤より多糖類様物質 O. P. S. を抽

文 献

- 1) Opitz, Ebenda. Jg. 29, No. 34, 1903.
- 2) Frank, Journ. Exper. Med. Vol. 9, No. 3, 1907.
- 3) 佐伯, 岡山医学会雑誌 44年, 8号, 2108頁, 1932.
- 4) 秋保, 東北医学雑誌 29巻, 1号, 63頁, 1941.
- 5) 石川, Zbl. f. Gyn. 52巻, 1頁, 1928.
- 6) 高岡, 日本産婦会誌, 3巻, 12号, 527頁.
- 7) 眞柄, 妊娠中毒症の成因と予防, 1948.
- 8) 加来, 綜合医学 7巻, 3号, 16頁, 10号, 10頁, 1950.